

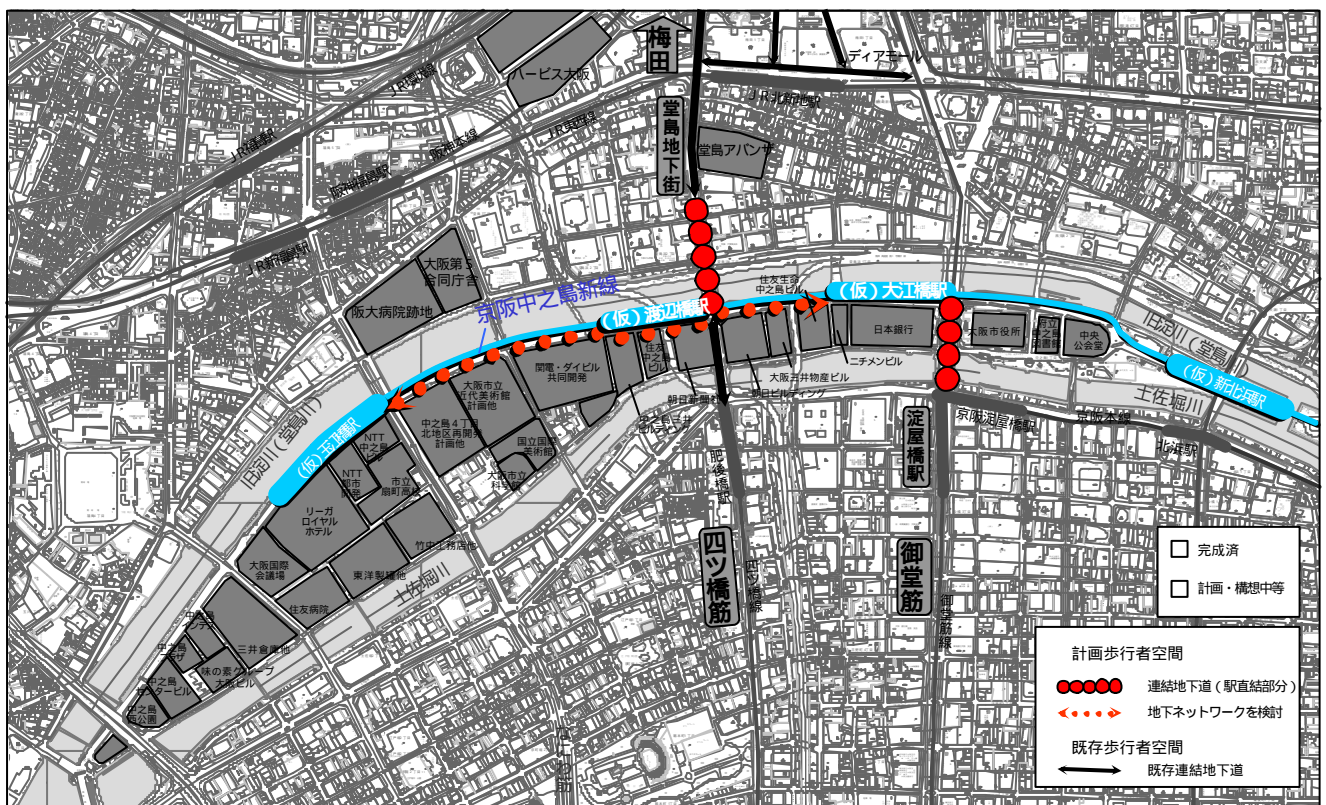
中之島地域の再生に向けた取組

中之島新線（天満橋～（仮）玉江橋）については、平成20年度の開業に向けて工事に着手（平成15年5月）

中之島新線を契機とした地域全体の活性化に向け、新たな地下歩行者ネットワーク等についての全体計画を策定（平成15年6月）

- ・ 新駅をにぎわいに資する空間として整備
- ・ 幹線地下ネットワークを道路管理者が中心となって具体化
 - 四ツ橋筋（堂島地下街～（仮）渡辺橋駅）
 - 御堂筋（淀屋橋駅～（仮）大江橋駅）
 - 新線沿いのにぎわい空間を創出する、地下ネットワークの形成（民間都市開発事業に対応し、順次具体化）

大阪市において、附置義務駐車場の緩和策について平成15年度中を目途に措置予定



水都大阪の再生

「水都大阪」を再生するため、都心部の河川について沿川のまちづくりと一体となった再生構想を策定するとともに、このうち先行的に道頓堀川的环境整備を推進する。

〔平成13年12月、都市再生プロジェクト（第三次決定）
「大都市圏における都市環境インフラの再生」より抜粋〕

平成15年3月、産官学からなる水の都大阪再生協議会が再生構想を策定

- ・ 中之島（堂島川、土佐堀川）、木津川、東横堀川、道頓堀川各々の特性を生かした水辺空間の整備・利活用
- ・ 特に道頓堀川において、遊歩道を整備するとともに、民間主体のオープンカフェテラスの実施を検討
- ・ 継続的にイベントを実施。大川河川敷等におけるシンボルイベントを検討

対象エリア



道頓堀川の再生



シンボルイベントイメージ

